# 北のわらしべ

《春・初夏号》令和２年６月19日発行

発行元：社会福祉法人わらしべ会(北海道)
連絡先；〒065-0042
札幌市東区苗穂町３丁目2-35
℡　011-776-7981［法人本部］

## 令和２年度　新型コロナウイルス感染下のスタート

理事長　川本　明良

（春の浦河わらしべ園）

年明けと共に国内で始まったコロナ感染が私たちの生活に大きな影響をもたらしています。しかし連日のコロナ感染に関する過剰ともいえる報道には少し辟易している人も多いのではないでしょうか？これら多くの情報の中で評価され話題となったものがあります。日本赤十字社の「ウイルスの次にやってくるもの」と題した動画が話題となりました。ウイルス感染が人を不安にさせ、恐怖を抱かせる・不安や恐怖が差別を生む・差別が感染の拡大につながると語り、この「負の循環」を断ち切ることの必要性を訴える内容です。なぜこのメッセージが心に響いたのでしょうか？動画の内容をウイルス感染の恐怖という「1.自身の問題」と、不安や恐怖が感染した「人」に対する恐怖になるという「2.他者の問題」、そこから対立や差別が生まれるという「3.社会の問題」という３つの問題に言い換えることができます。この問題提起は私たちの不安をストレートに表現しています。対立や差別を生じさせないために「負の連鎖」を断ち切る努力が求められています。

またドイツのメルケル首相のコロナ感染に対する「ドイツに住む人々へ」の演説が世界で共感と評価を受けたそうです。事態が深刻であることを強調し「1.政治的決断を透明にして根拠示す」ということ、「2.行動指針はウイルス拡散スピードを緩和して時間を稼ぐ」ということ、「3.抽象的数字の話ではなく、お父さん、おじいさん、お母さん、おばあさん、パートナーなど生きた人々の問題である」を説明した上で、「4.歴史的課題、力を合わせることでしか乗り越えられない」と訴えたのだそうです。分かり易くシンプルなメッセージですが、具体的で説得力ある内容が共感を得たのだと感じます。この問題が生きた人々の問題であるとする訴えは心に響き、問題の理解を促し自らの生活について考える内容といえるのではないでしょうか。コロナ感染終息が遠く、今後も長期間向き合う必要に迫られている私たちにとって、日本赤十字社の動画やメルケル首相の演説が共感を呼んでいることは多くの人が冷静にコロナ感染問題を理解し対策を実行していることと関連していると思います。当然のことですが、コロナ感染拡大は福祉事業にも大きな影響を及ぼしています。消毒や手洗い、マスク着用などの感染対策はもちろん、行事や外出制限、来園者の制限や地域の公益的活動自粛の他、通所利用者が自ら感染予防の為に通所を控える例もあり通所事業や短期入所の利用制限も多くの事業所が実施しています。

福祉団体を通じた情報では、集団感染が発生した施設の緊迫した厳しい状況が公表されています。一度発生すると、それまでの施設の日常は崩壊し、終わりの見えない非常事態が続きます。これらの情報から施設やグループホーム、通所事業所という特別な空間で、集団感染の脅威が私たちに迫っているという強い危機感を感じます。

緊急事態宣言が解除されたといえ、ワクチンも治療薬もない中、多くの事業者が必ず発生するといわれる秋・冬の感染拡大に備えて、夏の間も予防対応を継続しています。「ウイズ・コロナ」ともいわれる状況を受け入れざるを得ない中で、わらしべ会も予定していた法人内外の講習会や講演などの計画をすべて中止し、問題解決の目処が示されるまで外出や人の出入りを制限する感染対策非常対応を続けることとしました。皆さんのご協力を得てウイルス感染について、今後の困難に向かっていきたいと思います。利用者の皆様には自粛や制限をお願いすることになります。講習会や行事等に参加をご予定下さった皆様には大変申し訳ありません。皆様のご理解をお願い申し上げます。

（夏の大滝わらしべ園）

## 今年も美しい「桜」が咲きました。

札幌わらしべ園苗穂事業所の庭に桜の大木があることをご存知でしょうか？この木が今年も美しい花を咲かせてくれました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により閉鎖的で後ろ向きな気分の中、桜の花には、人の気持ちを和ませる美しさがあるようです。この場を通る多くの人が桜の木を見上げ、静かな春の訪れを楽しんでいるようでした。

（満開の桜　苗穂事業所）

# 大滝だより

大滝わらしべ園
〒052-0313
伊達市大滝区大成町１０
℡　0142-68-6344
FAX 0142-68-6345
Mail　waras@ootaki.tv

（身を乗り出して見てます）

（白玉の感触を楽しみました）

## 春のイベント　白玉だんご作り

令和２年３月 19 日、大滝わらしべ園では利用者自治会の行事として「白玉だんご作り」を行いました。

白玉粉に水を加え、ヘラで混ぜたり手でこねたり、それぞれができる作業をしていただきました。調理中は、率先して職員のお手伝いをする利用者様、ニコッと嬉しそうに笑いながら作業する利用者様、その様子を車いすから身を乗り出して見ている利用者様など、普段なかなか経験できないことに興味津々で楽しんでいました。また白玉を上手に丸めることが出来る人も多く、予定より早く作り終わりました。作った白玉は職員と代表の利用者様で茹でました。茹で方を伝えると「こんな調理方法があるんだね！」と感心した様子でやっていました。慣れてくると職員が手伝わなくても手際よく茹でてくれました。

そして待ちに待ったおやつの時間！自分たちで作った白玉にきな粉とあんこをつけて食べました。大きな口で美味しそうに食べていました。

利用者様は普段できないことを体験でき、職員も利用者様のいつもとは違った表情を見ることができて、非常に楽しく貴重な一日となりました。

（楽しく白玉を丸めています）

（手際よく茹でてくれました）

（大きな口でいただきま～す）

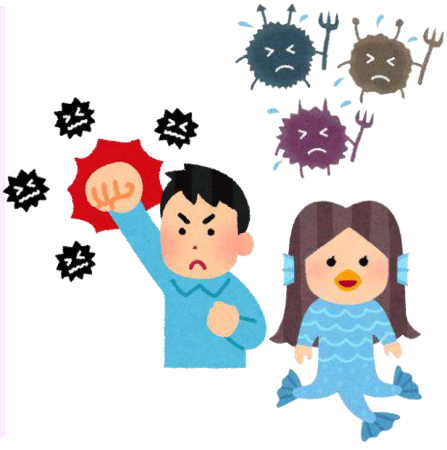
## この人紹介／若林奎吾（わかばやしけいご）さん

９月 18 日生まれの乙女座。趣味は映画鑑賞で、特技はダンスです。積極的にひまわり活動に参加され掃除や軽作業を頑張られています。 活動以外の場面では職員と話をされることが多く、とても明るくて元気いっぱいな方です。

## 今後の予定

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は全ての行事の開催を見合わせております。

今後の行事の開催が決まり次第、お知らせいたします。



# 浦河だより

浦河わらしべ園

〒057-0171
浦河郡浦河町西舎 124-1
TEL　0146-28-1801
FAX 0146-28-1991
Mail　urakawa-warashibe@deluxe.ocn.ne.jp

## 寿司バイキング＆健康祈願祭＆お花見

令和２年２月、浦河わらしべ園では毎年恒例となっている札幌海鮮丸様を迎えての寿司バイキングイベントを開催しました。職人の手によって目の前で握られるお寿司に大興奮でした。定番の握りネタのマグロやサーモン、軍艦ネタの海鮮ミックスやイカ納豆など目と舌で楽しめるネタがたくさん揃っていて皆さん目移りしながらお腹いっぱい食べていました。

３月には、健康祈願祭を行い物故者の供養と１年の利用者様と職員の健康ならびに地域の安寧を圓久寺の吉田住職に祈願して頂きました。御祈祷の前に１年間の思い出を振り返るスライドショーを観ました。「あんなこともあったねぇ」「こんなこともあったかなぁ」と話しながら皆様思い思いご覧になっていました。御祈祷後の講和では住職の「皆様が１日１笑顔で過ごしていただきたい。そうすると毎日が楽しくなる」とのお話に大きくうなずかれていました。

４月、丁度見頃になった園舎前の桜で「お花見」をしました。残念ながら風がまだ冷たく、桜の下でのお花見とはなりませんでしたが、園内から桜を眺めつつ職員が作った焼きそばや焼き鳥、おにぎりやお稲荷さん、浦河産のイチゴがのったアイスを食べ大満足のお花見会となりました。

（大賑わいの寿司バイキング）

（職人の握った寿司に大満足）

（吉田住職による御祈祷）

（きれいな桜の前でニコッ）

（イチゴがのったアイスに大喜び）

## 今後の予定

浦河わらしべ園では６月に中庭にてバーベキューを行う予定です。現在メニューを考えています。毎年恒例となっている７月のわらしべ祭は残念ながら延期となりました。わらしべ祭に代わる夏を満喫できるレクリエーションを計画中です。昨年大盛り上がりだったスイカ割りや花火などのイベント実施しようと検討しています。

## この人紹介／青木俊治（あおきとしはる）さん

12 月 5 日生まれの射手座。趣味は SexyZone の出ているもの（ライブ DVD など）の鑑賞で、特技は SexyZone の振付ができます。若い人に負けないように頑張っています。レクリエーションでいろいろなものを作ることも得意です。最近は「折り紙で鯉のぼり」を作りました。

夢は SexyZone のライブを札幌ドームに観に行くことです。大好きなので生で応援したいです。

今いろいろ大変な時期ですが、みんな一丸となって頑張っていきましょう！

# 札幌わらしべ園 東区事業所

〒065-0042
札幌市東区本町２条６丁目 4-1
℡　011-783-0606（１階）
　　011-790-8130（２階）
FAX 011-790-6572（１・２階共通）
Mail　sawarasibe@cyber.ocn.ne.jp（１階）
　　Whshuurou01@yahoo.co.jp（２階）

## 新体制のスタート

昨年10月から慎重に検討して決定した札幌わらしべ園通所事業の再編により、東区事業所も５月から新しいグループ体制での支援を始めました。事業所内では日常生活に「介護」を必要としている方を中心としたグループ１（活動スペース１階）、「就労的活動」を目標としたグループ２（活動スペース２階）に分かれて日中の活動に取り組んでいます。

グループ１では、日々のレクレーション、健康づくりや絵画・創作などの活動が中心です。グループ２ではそれらの活動に加えて「働く活動」も大切なテーマになります。利用者の皆さんを交えて、みんなで活動内容を検討し、日々、作業に取り組んでいます。グループ２では、働く活動として清掃業務を開始する計画です。コロナ感染の影響で外出や外部での活動が難しくなっていますが、事業所内でコロナウイルスに負けないように活動を楽しんでいます。カラオケやダンス、川柳などを実施しました。真夏日となった暑い日には、夏本番を待ちきれず、かき氷を楽しみました

どちらのグループも「生活リズムの確立」や「日課の設定」は大切な課題です。スムーズに生活を送るための環境設定にも配慮しながら、利用者様の特性や希望などを考えながらより良い支援を目指していきたいと思います。

（足を使ってアート活動中）

（縫物に集中しています）

（元気いっぱい 園芸活動）

## ひがしく川柳

徳光みどり 作

生活介護の一環として作成しました。

月見上げ
七色光る
きれいだな

青い空
平和を願い
空見上げ

## 札幌通所事業の再編

札幌わらしべ園は３つの拠点と２つのグループホームで構成しています。通所事業は「①東区事業所」「②厚別事業所」「③苗穂事業所」の３つに分かれています。令和３年度には、大滝わらしべ園の利用者様の札幌への移動希望者受入も予定しています。その事も踏まえて今後の活動を検討し、支援対象や支援内容の充実を図ることを目的に、昨年秋から現場の所長・主任を中心とした検討チームを設置し、再編案をまとめました。利用者様への説明や職員全体の意見調整で４月開始とはなりませんでしたが、５月から新体制をスタートさせました。コロナ感染予防で、縮小を余儀なくさせられた計画もありますが、新体制で支援内容の充実を目指します。

## 職 員 紹 介

氏　名：服部（はっとり）　隆太（りゅうた）
出身地：埼玉県
趣　味：料理

２年目　生活支援員

昨年入職しました、服部隆太と申します。埼玉生まれの兵庫育ちです。学生時代は料理ばかりしていて、趣味で調理師免許まで取ってしまいました。

最近は釣りにハマっていて、釣った魚を捌いて食べることが休日の楽しみとなっています。まだまだ未熟者ではありますが、利用者様に寄り添った支援を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

# 札幌わらしべ園
# 厚別・苗穂事業所

**厚別事業所**
〒004-0062
札幌市厚別区厚別西 2 条 2 丁目 1-23
TEL　011-376-0106
FAX 011-376-0140
Mail sawarasibe@cotton.ocn.ne.jp

**苗穂事業所**
〒065-0043
札幌市東区苗穂町 3 丁目 2-35
TEL　011-776-7981
FAX 011-776-7982
Mail naebojimu@hotmail.com

## グループ再編と屋内活動

利用者様の特性に応じた札幌全体の支援グループ再編を目標に検討や調整を進めてきました。厚別事業所も 5 月から新体制での活動を始めました。利用者様・職員共にグループ分けすることになりましたから、当初は様子の違いに戸惑いをみせる利用者様、やりにくさを感じる職員もいましたが、時間と共に少し落ち着いてきました。利用者様は以前と変わらない様子で楽しんでいます。

新型コロナウイルス感染拡大の厳しい状況の中、外出は自粛せざるを得ない状況ですから、活動内容は室内に限定されることになります。事業所 1 階は「重複障がい」をもつ利用者様を対象にして日常生活の介助、創作(アート)、個別支援を中心に支援活動を行っています。事業所 2 階では「知的障がい」をもつ利用者様を中心にした小集団で園芸、学習(主に書字)、体操、紙漉き、創作(アート)、余暇活動(レクリエーション)等の活動から日課を構成しています。創作活動で作成した作品は 2 階に展示スペースを設けて展示しています。事業所全体で 2 週に 1 度の調理実習活動も行っています。

(筋肉トレーニング頑張ってます)

(余暇活動でボール遊び)

(墨汁アート活動)

(押し花作成中)

(調理活動中 おいしくな～れ)

(園芸活動を楽しんでます)

## ペトゥ椅子紹介

わらしべ会が、ハンガリーの支援法「コンダクティブ教育」に取り組んできたことをご存じない方もいらっしゃいます。わらしべ会を訪問した方から、度々このペトゥ椅子についてご質問を頂きます。実はこの椅子はそのまま、椅子としての機能の他、訓練器具、歩行器など、色々な用途で活用されるコンダクティブ教育では大切な役割を持つ椅子なのです。次号から、この椅子の活用の方法をご紹介していきます。

## 苗穂事業所内での桜鑑賞会

(桜の前でピース✌)

昨年まで桜の時期には札幌市内の桜の名所に出かけ「春のお花見」を楽しんできました。各季節のいろいろな外出は事業所の大切な活動の一つです。また苗穂事業所に通う利用者様の特性から、外出から事業所に戻って体験を思い出したり、それを文章にしたり、話し合ったりと、学習活動の為の貴重な経験になります。今年もお花見外出を計画したかったのですが、新型コロナウイルス感染の影響で、事業所の外出は自粛することにしました。しかし幸いなことに苗穂事業所は近所で評判の隠れた「小さな桜の名所」なのです。今年は外に出かけず、事業所敷地内で静かに、実はにぎやかに桜鑑賞をしました。大きな桜の木の満開になった美しい桜を眺め、春を満喫することができました。

## カボチャ栽培 2020 始めました！

カボチャ栽培 2020 がスタートしました。この挑戦は今年で 4 年目を迎えます。平成 29 年度は 700 個以上の収穫がありました。収穫したカボチャをどう活用しようかと夢がふくらみましたが、2 年目は冷夏の影響で実が熟さず、3 年目は苗作りの失敗で、収穫数が少なくなってしまいました。今年は満を持しての再挑戦です。今年は 350 個の収穫を目指しています。

(畑に定植しました)

## クローズアップこの活動

### ～たんぽぽ活動～

大滝わらしべ園で行われるたんぽぽ活動は生活の充実や利用者様同士の交流を目的とした活動で、主に日付や食事のメニュー確認、歌、踊り、そして職員考案のゲームを行います。いつも多くの利用者様が参加され、職員との掛け合いや大喜利模様が好評で非常に盛り上がっています。天候が良い日は外に出て水遊びを行ったり、周辺の散歩を行い大滝の自然を体感する事もあります。また正月には書初めや福笑い、節分には豆まきなど季節を感じられる遊びもたんぽぽ活動で行われています。遊び以外では創作が多く、紙コップや紙皿などを用いてひな人形やお月見などが作られ、完成した作品は大滝わらしべ園と交流がある大滝徳舜瞥学校の校内に飾られることもあります。活動内ではいつも利用者様に笑顔が見られており、今後も利用者様にたんぽぽ活動を楽しんでいただけるよう、より一層の工夫を凝らしていきたいと考えています。

## わらしべ会新型コロナウイルス感染拡大の影響について

**①事業の休業等**：感染予防の観点から、浦河わらしべ園・札幌わらしべ園の通所事業を休業または縮小営業と致しました。現在は通常営業しています。
**②感染予防措置**：手洗い・消毒・換気・マスク・空気清浄機設置の他、利用者外出自粛、職員宴会等自粛を依頼の他、非常対応マニュアル、感染対策備蓄の準備を進めました。非常事態宣言解除後もこれらの措置を継続しています。
**③地域貢献等休止**：地域食堂、図書・学習スペース開放、外部講師研修会、講習会場・介護予防体操等の会場提供を休止しています。
**④法人運営関連**：評議員の皆さんの感染リスクを考え、3月評議員会および6月評議員会を「決議の省略」によるみなし決議により開催しました。

## 通信　グループホーム　シェアハウス

### 🏠シェアハウス🏠

**一人暮らしの感想**

わらしべ会のホームヘルプサービスを利用しながら一人暮らしで頑張る荻和孝様から今の生活についての感想を頂きました。

・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・

「一人暮らしを始めて、自分のことは自分で決めます。ヘルパーさんに手伝ってもらいながら買い物に行くこともあります。自分の生活を楽しんでいます。」

ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・ー・

荻さんは学生時代、一人暮らしを送る先輩の姿を見て、いつか自分も一人で暮らしたいと考えていました。入所施設での生活訓練や多くの体験後、ヘルパーサービス利用による一人暮らしの挑戦を始めました。若い荻さんですからこれからも、いろんなことに挑戦して自らの生活を豊かなものにしていくことと思います。

### 🏠グループホーム🏠

**今は残念、自粛の毎日です。**

グループホームでは手洗いの徹底、検温、外出を控えること、短期入所の制限など、多くの感染対策に努めています。みんなの大好きな「外出」に行けないことは、とても残念です。いつまで続くか？分かりませんが、今は感染しない為の努力が最優先です。将来の楽しいことを想像しながら感染対策に努めていきます。

## わらしべ会理事１名 就任

理事１名の就任が理事会・評議員会の承認を得て決定しました。大阪法人に職員の理事就任を依頼しました。両法人の交流を進める予定です。どうぞよろしくお願い致します。

就任理事　藤田敦士 氏
所属　わらしべ会（大阪）第１わらしべ園

# 令和元年度　社会福祉法人わらしべ会 事業報告

## １）全体総括

（社会福祉法人を取り巻く環境）

令和の時代になり、少子高齢化の状況が進行しています。超高齢化社会を迎えるにあたって、幾つもの課題が現実的なものとして意識されるようになってきました。５年後には高齢人口の急激な増加が想定されています。必要とされる介護サービス拡大も大きな課題です。このことは単に事業者サービス数を増やすということに留まりません。人々の生き方や生活様式の多様化に伴い要求される福祉ニーズは「良質で多様なサービス」提供が必要な時代になっています。

持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の国連サミット採択以降、関連する「誰一人取り残されない・持続可能・多様性・インクルージョン」という表現を意識する機会が増えました。社会全体でこれらの取り組みが進められています。 対「人」という意味で福祉事業は高齢者や障害者を支援するという事業内容から、日々の業務自体が目標の一部に取り組んでいるといえます。また「地域共生社会の実現」を合言葉に利用者の地域生活移行や公益的活動等地域を意識した事業が徐々に始められています。更に「社会」や「環境」に目を向けると、目標として改革に取り組むべき貧困や生活困窮、格差、孤立などさまざまな「生きづらさ」に直面することになります。このような社会状況を考えると、持続可能な開発目標で示された１７の基本目標が、多岐にわたり人々にとって身近で、重要な内容であるということが理解できます。社会全体の変化から、社会福祉法人が主体的に福祉事業の枠組みを超えた活動に取り組むことが求められています。

社会福祉法人基礎構造改革が進められた際、法人経営のガバナンス、透明化等の課題と合わせて、大規模化や経営基盤の強化というテーマが話し合われました。令和元年度ではさらに具体的に「合併」「統合」が話題になりました。社会の変化と社会福祉法人の役割に鑑み、運営方針や能力、組織形態が問われることになっています。

（令和元年度の特徴的課題）

国内の感染拡大が問題となりはじめた新型コロナウイルスは私たち福祉事業者にも大きな影響をもたらすことになりました。複数の入所施設で集団感染が発生し多くの事業所が休業することとなりました。各施設や事業所が感染予防対策・マニュアル整備や備蓄補充の他、非常時体制の検討が求められました。現在も感染が続いています。

福祉分野の人材確保が困難な状況が続いています。介護が必要な高齢者の増加が想定される一方で、労働人口の減少が顕著となる為、人手不足は改善が見込めない状況です。職員の待遇向上を目的として「処遇改善加算制度」に加えて「特定処遇改善加算制度」が始まりました。この制度を活用し職員処遇の改善に努めています。しかし人手不足は福祉分野に限らない社会全体の状況ですから職員確保に向けて根本的な問題対策が求められています。

（障がいのある人の支援）

令和元年度は第５期障害福祉計画の中間の年でした。障がいのある人の暮らしを支える支援は、入所型施設支援から「地域」での暮らしを中心とした支援に、固定化された支援から障がいのある人自身が望む支援の実現へと変化してきました。福祉サービス提供体制の基本的考え方では、障がいのある人の「１.訪問系サービス　２.日中活動サービス　３.地域生活拠点　３.一般就労移行」の整備や推進が示されています。地域福祉中心の考え方がより顕著になってきました。

虐待等の人権侵害に関する具体的問題対応にとどまらず、障害のある人の本質的な権利を守る取り組みが検討されています。障害福祉計画の基本理念で、権利擁護の基本理念として「自己決定の尊重」「意思決定支援」が強調されています。過去には成年後見制度の活用による経済面支援が強調されてきましたが、自己決定を支援する、「本人の意思尊重」の考え方が重要視されるようになっています。自らの意思が反映される生活を基本とし、自分自身で人生を決定するという考え方が支援の大切な柱になることから「意思決定に関する支援」が事業者の課題となってきました。

背景として各分野で、障がいのある人の主体的活動や参加を基本とし、個人の障害ではなく「社会の障がい」と

する考え方や、教育分野の自ら生活することを教育課題とするなど「障がい」概念の転換が影響しています。障がいを否定的に捉えるのではなく、個性や文化とする考え方が広がり、今後も福祉制度や支援に変化をもたらすことになります。

（わらしべ会 法人運営）

令和元年度はわらしべ会役員（理事・監事）の改選の年となりました。６月評議員会および理事会において６名の理事、２名の監事、また理事長を選任しました。理事、監事共に重任となり、前期と同じ体制で法人運営にあたりました。大滝わらしべ園の事業改編に関連して利用者の受入先グループホーム建設計画を進めてきましたが、事業所に近接したリース契約の提案があり自己所有建設計画を見直し、リース物件を活用したグループホーム運営に変更しました。法人運営に関する重要審議が多く、理事会・評議員会を開催し、慎重に審議しました。各施設や法人運営・事業運営について法人運営委員６名（理事・理事長・施設長・部長）による審議の場を設置し、重要課題について話し合いました。

**２）法人内活動総括**

①コンダウティブ教育・札幌でコンダクティブ利理論を応用した「高次脳機能障害利用者」支援を継続しました。
②大滝わらしべ園運営検討委員会　・将来に向けた活用について審議を継続しました。
③法人事務機能札幌集約化・法人運営・会計経理・庶務の本部集中化を進め法人事務の一括管理促進を継続しました。
④施設・事業所の利用者の支援内容の明確化と個別支援計画の充実
・各施設・事業所の特性を再検討しました。QOL やエンパワメントの拡大・向上に向けた取り組みを実施しました。
⑤各地域の地域づくり参加
・札幌わらしべ園/地域食堂実施・介護予防体操協力・図書/スペースの開放・福祉を知るセミナー札幌開催(共催)
・浦河わらしべ園／セミナー開催・地域自治会活動参加・地域の方の施設行事参加
・大滝わらしべ園／地域自治会活動参加・地域の方の施設行事参加
⑥農業活動の発展
・かぼちゃの栽培に取り組み、収穫品を販売しました。

**３）評 議 員**　（７名）加藤孝　谷口貢　内藤律子　高岸節雄　酒井進　山本一哉　山本亮

**４）役　　員**　理事（５名）浅井伊知人　猪尾紀幸　上中正人　平岡理恵　川本明良　(令和元年度理事１名退任)
監事（２名）吉川滋政　志斉哲雄

**５）新規事業**　１；札幌わらしべ園　厚別事業所 通所介護事業所（共生型通所介護）

**６）法人活動／理事会・評議員会・監事監査・法人運営監査ほか**

| 月　日 | 実　施　活　動 | 場　所 | 主な内容 ・ その他 |
|---|---|---|---|
| 5月23日 | 監事監査 | 大滝・浦河 | 事業報告・決算報告・会計関連・利用者支援　ほか |
| 5月25日 | 理 事 会 | 大滝わらしべ園 | 事業報告・決算報告・工事計画　ほか |
| 6月10日 | 評議員会(浦河)理事会 | 浦河わらしべ園 | 事業報告・決算報告・役員改選/理事長選任　ほか |
| 9月18日 | 札幌市法人監査　４名 | 苗穂事業所 | 札幌市監査指導室・障がい保健福祉部 |
| 9月25日 | 監事監査 | 大滝・浦河 | 運営・会計関連・利用者支援　・預り金管　ほか |
| 10月20日 | 一般競争入札 | 苗穂事業所 | 札幌苗穂第２事業所　修繕・改修工事 |
| 10月20日 | 理 事 会 | 苗穂事業所 | 入札結果審議/法人指導監査結果審議 |
| 12月17日 | 監事監査 | 大滝・浦河 | 前期収支・会計処理・利用者支援・預り金　ほか |
| 12月20日 | 理 事 会 | 苗穂事業所 | 法人指導監査結果審議 GH計画 補正予算　ほか |
| 3月2日 | 監事監査 | 大滝・浦河 | 事業計画・予算・利用者支援　・預り金　ほか |
| 3月7日 | 理 事 会 | 苗穂事業所 | 事業計画・予算・定款変更・契約・役員　ほか |
| 3月22日 | 評議員会 | （決議の省略） | 事業計画・予算・定款変更・契約・役員　ほか |

# わらしべ会だより／会計報告

第１号第１様式

## 法人単位資金収支計算書

自 平成31年 4月 1日　至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人　わらしべ会

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 予　算 | 決　算 | 差　異 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動による収支 | 収入 | 障害福祉サービス等事業収入 | 561,790,000 | 559,776,356 | 2,013,644 | |
| | | その他の事業収入 | 50,000 | 13,971 | 36,029 | |
| | | 経常経費寄附金収入 | 100,000 | 171,000 | -71,000 | |
| | | その他の収入 | 4,105,000 | 4,228,127 | -123,127 | |
| | | 事業活動収入計(1) | 566,045,000 | 564,189,454 | 1,855,546 | |
| | 支出 | 人件費支出 | 331,080,000 | 326,444,081 | 4,635,919 | |
| | | 事業費支出 | 96,105,000 | 92,311,765 | 3,793,235 | |
| | | 事務費支出 | 92,907,000 | 87,346,728 | 5,560,272 | |
| | | 事業活動支出計(2) | 520,092,000 | 506,102,574 | 13,989,426 | |
| 事業活動による収支 | | | 45,953,000 | 58,086,880 | -12,133,880 | |
| 施設整備等による収支 | 収入 | 施設整備等収入計(4) | | | | |
| | 支出 | 固定資産取得支出 | 77,000,000 | 74,260,571 | 2,739,429 | |
| | | ファイナンス・リース債務の返済支出 | 2,600,000 | 2,560,308 | 39,692 | |
| | | 施設整備等支出計(5) | 79,600,000 | 76,820,879 | 2,779,121 | |
| 施設整備等による収支 | | | -79,600,000 | -76,820,879 | -2,779,121 | |
| その他の活動による収支 | 収入 | 積立資産取崩収入 | 1,540,000 | 6,664,755 | -5,124,755 | |
| | | その他の活動収入計(7) | 1,540,000 | 6,664,755 | -5,124,755 | |
| | 支出 | 積立資産支出 | 7,630,000 | 9,889,270 | -2,259,270 | |
| | | その他の活動支出計(8) | 7,630,000 | 9,889,270 | -2,259,270 | |
| その他の活動による収支 | | | -6,090,000 | -3,224,515 | -2,865,485 | |
| 予備費支出(10) | | | 11,078,000<br>-4,615,000 | | 6,463,000 | |
| 当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10) | | | -46,200,000 | -21,958,514 | -24,241,486 | |
| 前期末支払資金残高(12) | | | 46,000,000 | 482,674,759 | -436,674,759 | |
| 当期末支払資金残高(11)+(12) | | | -200,000 | 460,716,245 | -460,916,245 | |

第３号第１様式

## 法人単位貸借対照表

令和 2年 3月31日 現在

社会福祉法人　わらしべ会

（単位：円）

| 資産の部 | 当年度末 | 前年度末 | 増　減 | 負債の部 | 当年度末 | 前年度末 | 増　減 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【流動資産】 | 530,243,159 | 509,850,886 | 20,392,273 | 【流動負債】 | 76,226,914 | 35,676,127 | 40,550,787 |
| 現金預金 | 404,527,192 | 414,373,653 | -9,846,461 | 事業未払金 | 68,832,514 | 27,176,127 | 41,656,387 |
| 事業未収金 | 125,021,567 | 95,477,233 | 29,544,334 | その他の未払金 | 694,400 | | 694,400 |
| 未収金 | 694,400 | | 694,400 | 1年以内返済予定設備資金借入金 | | | |
| 未収補助金 | | | | 1年以内返済予定リース債務 | | | |
| 未収収益 | | | | 未払費用 | | | |
| 貯蔵品 | | | | 預り金 | | | |
| 立替金 | | | | 職員預り金 | | | |
| 前払金 | | | | 仮受金 | | | |
| 前払費用 | | | | 賞与引当金 | 6,700,000 | 8,500,000 | -1,800,000 |
| 仮払金 | | | | その他の流動負債 | | | |
| その他の流動資産 | | | | | | | |
| 徴収不能引当金 | | | | | | | |
| 【固定資産】 | 1,154,921,067 | 1,124,849,274 | 30,071,793 | 【固定負債】 | 60,049,192 | 56,704,349 | 3,344,843 |
| （基本財産） | 502,343,746 | 533,608,996 | -31,265,250 | 設備資金借入金 | | | |
| 土地 | 24,490,422 | 24,490,422 | | リース債務 | 13,545,352 | 16,008,344 | -2,462,992 |
| 建物 | 477,853,324 | 509,118,574 | -31,265,250 | 退職給付引当金 | 46,503,840 | 40,696,005 | 5,807,835 |
| （その他固定資産） | 652,577,321 | 591,240,278 | 61,337,043 | その他の固定負債 | | | |
| 土地 | 184,958,848 | 151,112,497 | 33,846,351 | 負債の部合計 | 136,276,106 | 92,380,476 | 43,895,630 |
| 建物 | 274,973,356 | 253,956,233 | 21,017,123 | 純資産の部 | | | |
| 構築物 | 232,874 | 500,623 | -267,749 | 【基本金】 | 773,230,057 | 773,230,057 | |
| 機械及び装置 | 7,557,037 | 1,108,350 | 6,448,687 | 【国庫補助金等特別積立金】 | 52,503,245 | 59,498,927 | -6,995,682 |
| 車輌運搬具 | 5,996,771 | 8,197,863 | -2,201,092 | 【その他の積立金】 | 113,921,451 | 115,461,451 | -1,540,000 |
| 器具及び備品 | 5,200,147 | 4,444,628 | 755,519 | 人件費積立金 | 63,000,000 | 63,000,000 | |
| 有形リース資産 | 13,232,997 | 15,762,628 | -2,529,631 | 修繕積立金 | 43,921,451 | 43,921,451 | |
| ソフトウェア | | | | 備品等購入積立金 | 7,000,000 | 7,000,000 | |
| 退職給付引当資産 | 46,503,840 | 40,696,005 | 5,807,835 | 移行時特別積立金 | | | |
| 人件費積立資産 | 63,000,000 | 63,000,000 | | その他の積立金 | | 1,540,000 | -1,540,000 |
| 修繕費積立資産 | 43,921,451 | 43,921,451 | | 【次期繰越活動増減差額】 | 609,233,367 | 594,129,249 | 15,104,118 |
| 備品等購入積立資産 | 7,000,000 | 7,000,000 | | （うち当期活動増減差額） | 13,564,118 | 34,832,618 | -21,268,500 |
| 移行時特別積立資産 | | | | | | | |
| その他の積立資産 | | 1,540,000 | -1,540,000 | | | | |
| 差入保証金 | | | | | | | |
| その他の固定資産 | | | | | | | |
| | | | | 純資産の部合計 | 1,548,888,120 | 1,542,319,684 | 6,568,436 |
| 資産の部合計 | 1,685,164,226 | 1,634,700,160 | 50,464,066 | 負債及び純資産の部合計 | 1,685,164,226 | 1,634,700,160 | 50,464,066 |

第２号第１様式

## 法人単位事業活動計算書

自 平成31年 4月 1日　至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人　わらしべ会

（単位：円）

| 勘定科目 | | | 本年度決算 | 前年度決算 | 増　減 |
|---|---|---|---|---|---|
| サービス活動増減の部 | 収益 | 障害福祉サービス等事業収益 | 559,776,356 | 572,183,119 | -12,406,763 |
| | | その他の事業収益 | 13,971 | 2,855,920 | -2,841,949 |
| | | 経常経費寄附金収益 | 171,000 | 315,000 | -144,000 |
| | | その他の収益 | 24,450 | | 24,450 |
| | | サービス活動収益計(1) | 559,985,777 | 575,354,039 | -15,368,262 |
| | 費用 | 人件費 | 329,408,596 | 313,761,049 | 15,647,547 |
| | | 事業費 | 92,311,765 | 94,992,024 | -2,680,259 |
| | | 事務費 | 87,346,728 | 92,966,556 | -5,619,828 |
| | | 減価償却費 | 48,553,925 | 49,332,899 | -778,974 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -6,694,475 | -6,995,682 | 301,207 |
| | | サービス活動費用計(2) | 550,926,539 | 544,056,846 | 6,869,693 |
| | サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) | | 9,059,238 | 31,297,193 | -22,237,955 |
| サービス活動外増減の部 | 収益 | その他のサービス活動外収益 | 4,203,677 | 3,535,435 | 668,242 |
| | | サービス活動外収益計(4) | 4,203,677 | 3,535,435 | 668,242 |
| | 費用 | サービス活動外費用計(5) | | | |
| | サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5) | | 4,203,677 | 3,535,435 | 668,242 |
| 経常増減差額(7)=(3)+(6) | | | 13,262,915 | 34,832,628 | -21,569,713 |
| 特別増減の部 | 収益 | 特別収益計(8) | | | |
| | 費用 | 固定資産売却損・処分損 | 4 | 10 | -6 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | -301,207 | | -301,207 |
| | | 特別費用計(9) | -301,203 | 10 | -301,213 |
| | 特別増減差額(10)=(8)-(9) | | 301,203 | -10 | 301,213 |
| 当期活動増減差額(11)=(7)+(10) | | | 13,564,118 | 34,832,618 | -21,268,500 |
| その他の増減の部 | 前期繰越活動増減差額(12) | | 594,129,249 | 531,096,631 | 63,032,618 |
| | 当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) | | 607,693,367 | 565,929,249 | 41,764,118 |
| | その他の積立金取崩額(15) | | 1,540,000 | 28,200,000 | -26,660,000 |
| | 次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16) | | 609,233,367 | 594,129,249 | 15,104,118 |

### 主な決算報告の説明

・各事業会計の収支は前年度よりやや収入減の事業が増えました。

・本部からの大きな支出はｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ用地購入および苗穂第２事業所の修繕・改修工事による支出です。

### わらしべ会令和元年度社会福祉充実残額の説明

・社会福祉充実残額 ＝①活用可能な財産－(②社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等＋ ③再取得に必要な財産 ＋ ④必要な運転資金)

・令和元年度決算に基づく法人の社会福祉充実残額は、**▲111,281,514** です。

## 財産目録

令和2年3月31日現在

| 摘要 | 内訳 | | 金額 |
|---|---|---|---|
| Ⅰ．資産の部 | | | |
| 1．流動資産 | 現金預金 | | 404,527,192 |
| | 本部 | 271,922,502 | |
| | 大滝施設入所 | 2,546,952 | |
| | 大滝生活介護 | 55,656,125 | |
| | 大滝短期入所 | 162,024 | |
| | 浦河施設入所 | 23,506,211 | |
| | 浦河生活介護 | 11,693,558 | |
| | 浦河短期入所 | 1,313,408 | |
| | 浦河支援センター | 833,959 | |
| | 札幌生活介護 | 13,529,526 | |
| | 札幌居宅介護 | 10,374,496 | |
| | 札幌グループホーム | 6,026,649 | |
| | 札幌短期入所 | 151,912 | |
| | 厚別生活介護 | 6,809,870 | |
| | 事業未収金 | | 125,021,567 |
| | 法人本部 | 21,000,000 | |
| | 大滝施設入所 | 12,490,745 | |
| | 大滝生活介護 | 16,428,696 | |
| | 大滝短期入所 | 5,213,670 | |
| | 浦河施設入所 | 14,382,882 | |
| | 浦河生活介護 | 24,809,690 | |
| | 浦河短期入所 | 161,390 | |
| | 浦河支援センター | 0 | |
| | 札幌生活介護 | 12,893,667 | |
| | 札幌居宅介護 | 4,123,337 | |
| | 札幌グループホーム | 6,436,999 | |
| | 札幌短期入所 | 35,435 | |
| | 厚別生活介護 | 7,045,056 | |
| | 未収金 | | 694,400 |
| | 浦河施設入所 | 694,400 | 694400 |
| | **流動資産合計** | | 530,243,159 |
| 2．固定資産 | 土地 | | 24,490,422 |
| （1）基本財産 | 大滝施設入所 | 1,063,849 | |
| | 札幌生活介護 | 23,426,573 | |
| | 建物 | | |
| | 大滝施設入所 | 105,982,166 | 477,853,324 |
| | 浦河施設入所 | 364,372,090 | |
| | 札幌生活介護 | 7,499,068 | |
| | **基本財産合計** | | 502,343,746 |
| （2）その他の固定資産 | 土地 | | 184,958,848 |
| | 本部 | 117,560,351 | |
| | 大滝施設入所 | 256,666 | |
| | 浦河施設入所 | 23,961,831 | |
| | 札幌グループホーム | 25,000,000 | |
| | 厚別生活介護 | 18,180,000 | |
| | 建物 | | 274,973,356 |
| | 本部 | 154,016,923 | |
| | 大滝施設入所 | 4 | |
| | 浦河施設入所 | 23,320,346 | |
| | 札幌グループホーム | 75,051,766 | |
| | 厚別生活介護 | 22,584,317 | |
| | 構築物 | | 232,874 |
| | 大滝施設入所 | 8 | |
| | 札幌生活介護 | 232,866 | |
| | 機械及び装置 | | 7,557,037 |
| | 大滝施設入所 | 6,666,487 | |
| | 浦河施設入所 | 890,550 | |
| | 車輌運搬具 | | 5,996,771 |
| | 大滝施設入所 | 183,278 | |
| | 浦河施設入所 | 3,877,684 | |
| | 札幌生活介護 | 716,480 | |
| | 札幌居宅介護 | 1 | |
| | 札幌グループホーム | 765,983 | |
| | 厚別生活介護 | 453,345 | |
| | 有形リース資産 | | 13,232,997 |
| | 札幌生活介護 | 13,232,997 | |
| | 器具及び備品 | | 5,200,147 |
| | 大滝施設入所 | 811,835 | |
| | 浦河施設入所 | 3,635,522 | |
| | 札幌生活介護 | 80,190 | |
| | 札幌グループホーム | 594,964 | |
| | 厚別生活介護 | 77,636 | |

| 摘要 | 内訳 | | 金額 |
|---|---|---|---|
| （2）その他の固定資産 | 退職給付引当資産 | | 46,503,840 |
| | 大滝施設入所 | 6,923,925 | |
| | 浦河施設入所 | 14,337,890 | |
| | 浦河生活介護 | 4,182,060 | |
| | 浦河短期入所 | 867,360 | |
| | 札幌生活介護 | 8,761,420 | |
| | 札幌居宅介護 | 6,192,755 | |
| | 札幌グループホーム | 1,703,390 | |
| | 厚別生活介護 | 3,535,040 | |
| | 人件費積立預金 | | 63,000,000 |
| | 大滝施設入所 | 22,000,000 | |
| | 浦河施設入所 | 37,000,000 | |
| | 札幌生活介護 | 2,500,000 | |
| | 札幌居宅介護 | 1,500,000 | |
| | 修繕費積立預金 | | 43,921,451 |
| | 大滝施設入所 | 17,000,000 | |
| | 浦河施設入所 | 21,921,451 | |
| | 厚別生活介護 | 5,000,000 | |
| | 備品等購入積立預金 | | 7,000,000 |
| | 大滝施設入所 | 3,000,000 | |
| | 浦河施設入所 | 4,000,000 | |
| | その他の積立預金 | | 0 |
| | **その他の固定資産合計** | | 652,577,321 |
| | **固定資産合計** | | 1,154,921,067 |
| | **資産合計** | | 1,685,164,226 |
| Ⅱ．負債の部 | 事業未払金 | | 68,832,514 |
| 1．流動負債 | 法人本部 | 17,290,924 | |
| | 大滝施設入所 | 11,664,872 | |
| | 大滝生活介護 | 23,371,003 | |
| | 大滝短期入所 | 4,266,681 | |
| | 浦河施設入所 | 3,031,964 | |
| | 浦河生活介護 | 3,402,144 | |
| | 浦河短期入所 | 61,691 | |
| | 浦河支援センター | 62,458 | |
| | 札幌生活介護 | 1,485,460 | |
| | 札幌居宅介護 | 152,356 | |
| | 札幌グループホーム | 3,707,985 | |
| | 厚別生活介護 | 334,976 | |
| | その他の未払金 | | |
| | 浦河施設入所 | 694,400 | 694,400 |
| | 賞与引当金 | | 6,700,000 |
| | 大滝施設入所 | 600,000 | |
| | 大滝生活介護 | 600,000 | |
| | 浦河施設入所 | 1,000,000 | |
| | 浦河生活介護 | 1,200,000 | |
| | 札幌生活介護 | 1,300,000 | |
| | 札幌居宅介護 | 700,000 | |
| | 札幌グループホーム | 500,000 | |
| | 厚別生活介護 | 800,000 | |
| | **流動負債合計** | | 76,226,914 |
| 2．固定負債 | 退職給付引当金 | | 46,503,840 |
| | 大滝施設入所 | 6,923,925 | |
| | 浦河施設入所 | 14,337,890 | |
| | 浦河生活介護 | 4,182,060 | |
| | 浦河短期入所 | 867,360 | |
| | 札幌生活介護 | 8,761,420 | |
| | 札幌居宅介護 | 6,192,755 | |
| | 札幌グループホーム | 1,703,390 | |
| | 厚別生活介護 | 3,535,040 | |
| | リース負債 | | |
| | 札幌生活介護 | 13,545,352 | 13,545,352 |
| | **固定負債合計** | | 60,049,192 |
| | **負債合計** | | 136,276,106 |
| | **差引純資産** | | 1,548,888,120 |

# お　知　ら　せ

## ❀ありがとうございました❀

順不同にてご紹介

ご寄贈頂きました。

橋本 強 様

氏家 篤 様

近藤 寿美子 様

平崎 京子 様

皆様のご支援に感謝申し上げます。

## 桜の木植樹

大阪に事務局のある「わらしべと共に歩む会」様より本年度の事業として札幌わらしべ園に桜の苗木を頂戴することになりました。植樹に相応しい日程を相談させて頂き 9 月末に植樹式を開催する予定です。次号の広報誌で、その様子をお知らせいたします。

## 「北のわらしべ」発行スケジュールの変更

社会福祉法人わらしべ会（北海道）機関紙「北のわらしべ」はこれまで年 4 回発行してまいりました。今後は、年 3 回の発行に変更させていただきます。今後とも宜しくお願い致します。

## ＊行事予定表＊

| | 大　滝 | | 浦　河 | | 札幌 | | 法　人 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 月 | 18 日 | 春の健康診断 | 16 日 | 救命講習 | 未定 | お楽しみ食事会（東区） | 15 日 | 評議員会／書面（決議の省略）<br>（地域食堂休止） |
| | | | 17 日 | 中庭 BBQ | 24 日 | かぼちゃ定植 | | |
| | 24 日 | 南瓜の苗植え | 23 日 | 避難訓練 | 2 週に 1 度 | 調理実習（厚別） | | |
| 7 月 | 未定 | 小旅行 | 21 日 | レクリエーション | 未定 | 調理実習（東区） | 4 回 | 夏季インターンシップ<br>（地域食堂休止） |
| | | | 不定 | 青空喫茶<br>スイカ割り<br>花火 | 2 週に 1 度 | 調理実習（厚別） | | |
| 8 月 | 未定 | 誕生会 | 22 日 | 西舎地区盆踊り | 未定 | お楽しみ会（東区） | 4 回 | 夏季インターンシップ<br>（地域食堂休止） |
| | | | 31 日 | 非常食食事会 | 2 週に 1 度 | 調理実習（厚別） | | |

## 講習・教室等の中止・延期

**「おむつフィッター3 級講習」**高齢者問題研究所主催で 9 月に札幌わらしべ園苗穂事業所で予定していた同講習は次年度に延期となりました。お申し込み頂いた多くの皆様のご理解をお願い申し上げます。

**「ハンガリー式リズム体操」**本町・苗穂地区センター様のご支援で定期開催を予定していましたパーキンソン病の方を対象とした同教室は中止とさせて頂きます。

## 編集後記

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の中、多くの方から貴重な情報や励まし、物品を頂戴しました。また緊急事態宣言解除後も外出自粛を続けてくれている利用者の皆様、業務の責任や使命を自覚し、盛り場や宴会等の自粛を続けてくれている法人の職員にも感謝しています。

降雪寒冷地に住む私たち北海道民は雪融けの後、春から夏にかけて季節の移り変わりをとても楽しみにしています。薄緑色に芽吹いた木々が徐々に葉を広げ、やがて濃い緑の木々に変化していく様子は感動的で美しい光景です。新型コロナウイルス感染の閉塞感いっぱいの中とはいえ、自然の美しい変化が感染の恐怖と先の見えない自粛の中、私たちに勇気をくれているように感じます。

（緑に包まれた支笏湖）

編集職員一同